

第5次寒河江市振興計画

『歴史と文化の織りなす 気品ただよう美しい都市^{まち} 寒河江』

基本計画

寒河江市

第5次寒河江市振興計画 基本計画 目次

第1章	景観と歴史・文化の融合を図り、品格ある社会をめざす	1
第1節	歴史と文化を生かした美しい景観の形成	1
第2節	文化の薫りとゆとりある豊かな暮らしの形成	2
第2章	夢はずみ、希望に満ちた都市をめざす	3
第1節	田園と都市とが共生する土地利用の推進	3
第2節	次世代へつなぐ道路交通体系の構築	4
第3節	快適で活気ある居住空間の提供	5
第3章	活力に満ちた産業の創造	6
第1節	競争力に強い農業経営基盤の確立	6
第2節	新たな観光産業の創出	7
第3節	活力ある工業の振興と雇用の創出	8
第4節	人行き交い、賑わいある商業の振興	9
第5節	地域経済の活性化と新たな産業の創出	10
第4章	いきいきと健康で安心できる地域社会の創造	11
第1節	すこやかな成長と生きがいある地域社会の形成	11
第2節	生涯を通して健康で明るい生活の実現	12
第3節	充実した医療体制による安心な暮らしの提供	13
第5章	市民自らの手による地域社会の創造	15
第1節	市民参加による協働のまちづくり	15
第2節	市民による地域社会の形成	15
第3節	安全安心な地域づくり	16
第6章	21世紀を担う人材の育成	17
第1節	美しく豊かで元気な心を育む人づくり	17
第2節	郷土を愛し、次代を担う子どもたちの育成	17
第3節	地域主体の活動による心豊かな人づくり	18
第4節	国際社会に対応した地域と人づくり	19
第7章	自らの責任で自立した市政をめざす	20
第1節	行財政改革と市政運営	20
第2節	広域的視点にたった市政の展開	21

第1章 景観と歴史・文化の融合を図り、品格ある社会をめざす

第1節 歴史と文化を生かした美しい景観の形成

■現況と課題

四季の変化に富んだ本市の気候・風土、恵まれた自然環境や美しい景観は、全ての市民の誇りであり貴重な財産です。また、そこに育まれてきた歴史や文化は、地域独自の民俗芸能や伝統的行事を生み出し、地域の特性を醸成し気品あるまちづくりを行っています。

これまで、花と緑、せせらぎで彩るまちづくりに取り組み、二の堰親水公園や市街地の公園・花壇、ポケットパーク等、市民自らの手によって美しく維持・管理されています。また、フラワーロードや花いっぱいのもちづくりについても、市民が主体となって取り組んできました。

「全国都市緑化やまがたフェア」を継承している「花咲かフェア IN さがえ」は、市民参加型のイベントとして、回を重ねるごとにオリジナリティーが加わり、充実・発展してきました。

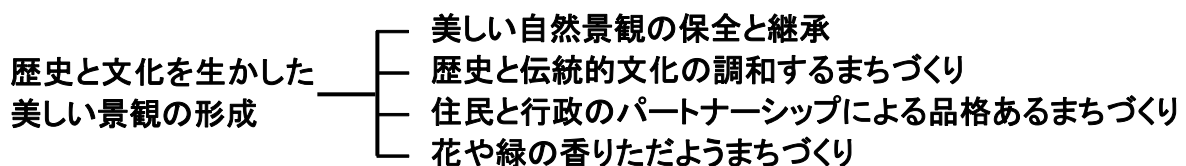
今後は、こうした新しいまちづくりに加え先人の築きあげた文化を継承しながら、他に誇りうる地域コミュニティを形成し、伝統的な街並みや歴史文化遺産を後世に伝え残すため、「上町・六供町通りまちづくり協定」や各地区における地区計画策定などにより、地域が一体となって歴史と文化を生かした美しい景観の形成を推進する必要があります。

■基本目標

美しい自然景観は、歴史や文化、さらに、人々の生活や経済活動との融合により豊かな地域が形成され、美しく品格のある郷土とうるおいある生活環境の創造に不可欠なものであることを認識し、市民共通の財産として、将来にわたりその恩恵を享受できるよう整備に努め、保全していきます。

また、市街地形成の核となる松と緑の長岡山は、市民の憩うやすらぎの公園として整備に努めていきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・「寒河江十景」や「ふるさと歴史百選」の利活用と継承
- ・親水公園や水辺空間等の保全
- ・慈恩寺周辺の景観保全と整備
- ・長岡山（寒河江公園）へのアクセス道等の整備
- ・まちづくり協定、地区計画等の策定推進
- ・上町・六供町沿線の街並み景観の形成
- ・彫刻やオブジェ、歴史資産のあるまちづくりの推進
- ・「花咲かフェア IN さがえ」の開催
- ・市の「木・花・緑」や「せせらぎ」を冠する親しみある街路の命名
- ・花・緑いっぱいのみちづくりの推進

第2節 文化の薫りとゆとりある豊かな暮らしの形成

■現況と課題

地域の文化や歴史的資源を守り生かしていくため、それらを理解し感動する、こころ豊かな人づくりと地域の活性化に結び付けていく人々の意欲が求められます。これまで、花と緑、せせらぎで彩るまちづくりによって、美しい自然景観を創出し、住む人や訪れる人たちにゆとりとやすらぎを与えてきました。

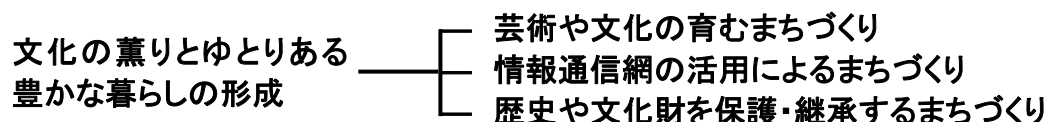
さらに、寒河江の悠久の歴史の解明とほかに見られない数多くの優れた文化財の発掘に努め、それらの情報を発信していく必要があります。また、スポーツや芸術活動についても、それぞれが自らの意思で特色ある活動を続けています。

これらの成果を生かしながら、より豊かな暮らしを形成するため、歴史、芸術、文化情報やスポーツ情報の集積と提供を行うとともに、研修、鑑賞、体験機会の拡充を図り、文化的、体育的活動や社会奉仕活動への参加を促進する必要があります。

■基本目標

文化的活動等への積極的な参加や芸術・歴史・文化・スポーツ情報の提供等により、市民の美的情操を高める活動を援助し、個々のゆとりある豊かな暮らしを推進していきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・文化的活動やボランティア活動への参加促進
- ・寒河江市民さくらんぼ憲章の実現
- ・歴史美術館の設置（八幡の杜・慈恩寺資料館等）
- ・歴史文化資料の発掘と保護
- ・地域伝承文化（祇園囃子・屋台・山車等）の発掘
- ・芸術文化情報やスポーツ情報の集積と提供
- ・市史等の調査研究の推進と歴史資料の収集
- ・歴史的な研修活動の推進と広報

第2章 夢はずみ、希望に満ちた都市をめざす

第1節 田園と都市とが共生する土地利用の推進

■現況と課題

これからのまちづくりは、経済的、人的に発展する都市の形成と自然の恵みを楽しむ田園との共生が必要となります。

都市整備については、都市計画に沿った秩序あるまちづくりのため、土地区画整理事業等を積極的に推進してきましたが、土地区画整理事業施行地内の宅地化率は78.5%にとどまっています。このため、用途地域内の宅地化を促進する必要があります。

また、市街化の進展により、従来から立地している工場等が市街地内の住宅地に取り込まれている地区もあることから、これらの混在地を解消するため、工場等については工業専用地域への誘導を図るとともに、商業地の活性化のために商店や商業施設の集積を進める必要があります。

農村地域は、農業振興地域内の農用地との調整を図りながら、将来のまちづくり計画にあわせ、田園の風景や水資源等、美しく豊かな自然環境を大切にした土地利用を推進する必要があります。さらに、農地・農業用水及び緑広がる田園空間の豊かな景観は市民共通の財産であるという認識を深め、新たなコミュニティを築き、それらの維持管理や環境保全活動を進める必要があります。

また、着実な下水道の整備により快適で文化的な生活環境が整ってきておりますが、近年、生活環境改善意識の向上により、公共下水道が供用開始されていない区域においても、浄化槽の設置が進んできています。そのため、今後の生活排水処理施設の整備については、投資効果も含めて効率的に、さらに水環境という総合的な観点からも検討を進める必要があります。

■基本目標

豊かな自然環境を大切にしながらか有効な土地利用の推進に努め、工業専用地域の拡大など、都市計画の用途地域に即した土地利用の誘導を図り、快適な生活環境と美しい景観の保全を推進していきます。

美しい田園や里山等で構成される農村集落の環境と拡大する市街地との調整を行い、調和ある土地利用を図ります。

水環境の保全については、公共水域の水質保全に努め、快適な環境づくりを推進し、より豊かな住みよいまちづくりを進めていきます。

■施策の体系

田園と都市とが共生
する土地利用の推進

都市計画の用途地域に即した土地利用の誘導
新たな都市空間の形成
地域資源を活用したまちづくり
緑資源や水環境に配慮した豊かなまちづくり

■主な施策

- ・都市計画マスタープランの見直し
- ・用途地域内における宅地化の推進
- ・商業地域の再生と工業専用地域の拡大
- ・農業振興地域と都市計画用途地域の調整
- ・モニュメントと都市施設の融合

- ・二の堰や沼川などの親水広場の利活用
- ・農地・農業用水等の維持管理や保全
- ・田園、里山等、自然や景観の保全
- ・緑の基本計画の策定
- ・河川環境の保全と水質浄化推進
- ・水需要に対応した水道水の安定供給
- ・下水道の整備、普及促進と浄化槽の設置促進

第2節 次世代へつなぐ道路交通体系の構築

■現況と課題

山形自動車道及び東北中央自動車道の整備など、本市を取り巻く高速交通網の整備が進み、仙台や東京方面への長距離路線バスも複数設定されるなど交通体系の充実は、市民生活の向上や産業等の振興発展に大きく寄与しています。

国道112号は、バイパスの整備や4車線化が進められ、山形広域都市圏と連結する重要な道路であり、国道287号・458号とともに、市街地の外環状を形成しています。さらに、広範な交流時代の結節点となるよう主要地方道天童寒河江線金谷バイパス、国道458号中郷バイパス等の国県道の整備促進とともに、市道や都市計画道路の整備により、安全・快適な道路網による都市軸の形成を図ってきました。

市街地にあっては、本市の顔として新しく生まれ変わった寒河江駅前中心市街地とチェリーランド、慈恩寺、そして、チェリークア・パークなど、核となる施設を結ぶ道路交通網を整備してきました。

今後、これらを効果的に連絡していくため、内環状道路をはじめとする都市計画道路等や国県道の整備促進、さらには連絡する主要幹線市道等の整備を図る必要があります。

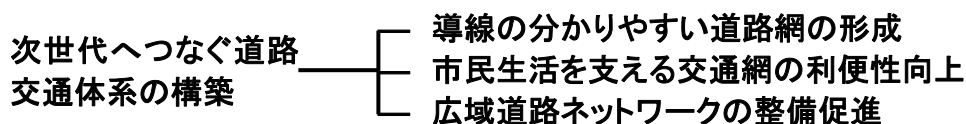
市民が日常的に使用する市道については、生活環境及び交通安全の確保に努め、整備を進めてきましたが、今後とも、利用者の安全・安心を考え、幅員の狭い箇所や歩道などについて、計画的な整備を進める必要があります。

■基本目標

高速交通施設の整備や中心市街地の一新により、交通量の増加への対応とともに人・物の交流を促進していきます。

また、国道112号をはじめとする幹線道路等の整備やより豊かな暮らしのために必要となる生活道路等、それぞれの道路が持つ機能に合った道路網整備を促進し、人と環境に配慮した安全な地域交通体系づくりを進めていきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・幹線道路や市道等生活道路とのアクセス強化
- ・都市計画道路柴橋日田線の整備促進
- ・都市計画道路下釜山岸線の整備促進
- ・都市計画道路落衣島線の整備促進
- ・都市計画道路山西米沢線や山西鶴田線の整備促進

- ・(仮称) 日田下釜線の整備促進
- ・案内標識等によるわかりやすい道路の標示
- ・歩道の段差解消によるバリアフリー化
- ・J Rや路線バスの利用促進と良好な接続推進
- ・寒河江S AスマートI Cの利活用促進
- ・国道112号の4車線化と寒河江山形間の整備促進
- ・国道287号の整備促進
- ・国道458号の整備促進
- ・主要地方道や県道の整備促進
- ・(仮称) 寒河江天童線の事業促進
- ・平塩橋の整備促進

第3節 快適で活気ある居住空間の提供

■現況と課題

交流人口の増加を定住へと誘導し人口の増加を図るため、これまで、土地区画整理事業や土地開発公社等による宅地開発を行い、利便性の高い低廉で優良な住宅地を提供してきました。なかでも、寒河江みずき団地や共同施行で実施した島南土地区画整理事業の分譲地は、短期間のうちに完売となり、新たな街並みが形成されています。

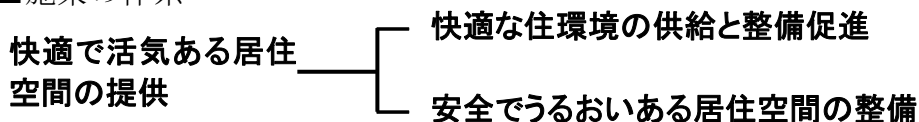
現在、既成市街地東側において木の下土地区画整理事業が進められ、「ほなみ団地」の愛称のもと、優良宅地の整備が進められています。

今後は、宅地開発をはじめ、花と緑いっぱいの公園や市内随所でせせらぎの瀬音が聞こえる居住環境等の整備に努め、すべての人々に安全で快適な住宅地を提供する必要があります。

■基本目標

少子高齢社会のなかで、活力あるまちづくりのため、快適な生活環境の整備と低廉で優良な住宅地を提供し、定住人口の増加を図っていきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・土地区画整理事業や土地開発公社等による宅地開発の推進
- ・ほなみ団地の整備促進
- ・分譲地等の積極的な情報発信
- ・住宅フェアの開催等による建築情報の提供

第3章 活力に満ちた産業の創造

第1節 競争力に強い農業経営基盤の確立

■現況と課題

農業については、これまで、高速交通網の整備充実による地理的優位性によって、消費地と直結された経済環境を生かしながら、水稻と果樹の組み合わせを基本に、野菜や花き等を取り入れた複合経営を主体として発展してきました。また、園芸作物の施設化と観光農業の振興により、収益性の高い「寒河江型農業」を推進してきました。

今後は、産地間競争が一層激化するなか、消費者や流通市場のニーズを踏まえた販売計画に力点を置き、新たな攻めの農業を展開する必要があります。そのため、意欲ある担い手の育成と農地利用集積が最も重要な課題となることから、地域の総意に基づく集落営農としての農用地利用改善組合を全地域に構築するとともに、高品位園芸産地として、畑地化事業による地域振興作物の一層の施設化と観光農業の振興に努める必要があります。

また、環境に対する意識が高まるなかで、地域農家が連携を図りながら、水稻や果樹栽培へ良質な堆肥を供給していくなど、環境保全型農業への取り組みを推進する必要があります。さらに、農地・農業用水等を市民共通の財産として維持する仕組みを構築する必要があります。

■基本目標

競争力に強い農業経営基盤を確立するため、高品位園芸産地としてブランド農産物の振興に努めていきます。特に、さくらんぼについては、これまでの主力品種である佐藤錦等に加え、新たに改良された紅秀峰を地域振興作物として定着拡大を奨励していきます。

また、集落営農の確立を図るため、担い手の育成・確保、農地利用集積を推進し、規模拡大を支援していきます。

■施策の体系

競争力に強い農業経営基盤の確立

- ブランド化の推進による産地の確立
- 経営の転換による攻めの農業の展開
- 集落営農の確立
- 意欲ある農業就労者の育成と確保
- 安全・安心農産物の生産体制の推進
- 環境保全型農業の推進
- 中山間地域等の農地保全と生産活動の推進

■主な施策

- ・紅秀峰のブランド化
- ・清流寒河江川によるおいしい米産地の確立とPR
- ・ブランド農産物の生産体制の確立
- ・最重点作物「大豆、枝豆、ねぎ、アスパラガス、花木」の生産拡大
- ・消費者や流通市場ニーズを踏まえた販売計画の構築
- ・高品位観光果樹園などの拡大
- ・水稻直播栽培の推進と定着化
- ・地域に調和する農用地利用改善組合の構築
- ・集落営農システムの構築
- ・幅広い新規農業就労者の確保

- ・認定農業者を中心とする担い手の育成・確保
- ・地産地消運動と消費拡大の推進
- ・農業用使用済みプラスチックリサイクルの推進
- ・畜産経営の安定向上と良質堆肥の生産供給
- ・森林の保全と整備推進
- ・葉山高原牧場の利用推進と多面的活用
- ・農免農道整備事業の促進

第2節 新たな観光産業の創出

■現況と課題

全国ブランドのさくらんぼをはじめ、文化財の宝庫である慈恩寺や温泉など、優れた資源を有するとともに、交流時代に先駆けチェリーランドやチェリークア・パーク、高速交通網や中心市街地の整備を進めてきました。また、市民による沿道の飾花や花咲かフェア I Nさがえを開催し、訪れる人々へおもてなしの機運も高まっています。さらに、若衆の掛け声がこだまする神輿の祭典は、老若男女を問わず人と人を一体化し、新たなコミュニケーションを生み出し、元気なまちづくりを醸成してきました。

観光産業は、基幹産業の一つとして大きく期待されており、本市観光において、今後、さらなる観光資源のルート化や受け入れ態勢の整備を進め、PRを強化しながら、観光客の増加や宿泊型観光の推進を図っていくことが重要な課題となっています。

このため、さくらんぼのブランド力の拡大を図るとともに、慈恩寺や寒河江温泉等の観光基盤の強化や歴史文化遺産など、新たな観光資源の創出を図り、これらに、祭りやイベント、花や景観など本市の独自色を加えて差別化を図りながら、四季を通じた観光客の誘致を図る必要があります。

また、最上川ふるさと総合公園や多目的水面広場等を有する最上川寒河江緑地等の整備を推進し、最上川沿岸スポーツ・レクリエーション基地の構築に取り組んでいく必要があります。

■基本目標

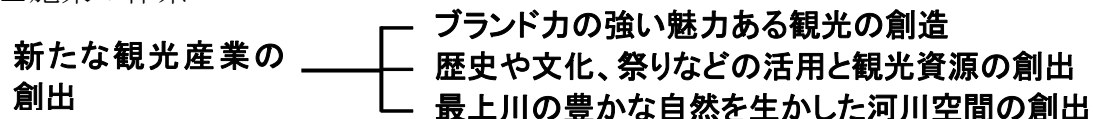
観光については、高速交通網の要衝という利点を生かし、広域観光ネットワーク化を推進するとともに、受け入れ態勢の整備充実により拠点機能を高め滞在型観光を推進し観光産業の拡大を図っていきます。

特産のさくらんぼについては、「紅秀峰の里 さがえ」の構築に向けて新たな取り組みを行っていきます。慈恩寺については、受け入れ基盤の整備を図り、また、寒河江温泉については、「温泉のまち 寒河江」として機能充実とイメージアップを図っていきます。さらに、固有の歴史文化遺産についても、新たな観光資源として活用していきます。

イベント等の開催については、元気なまちづくりの象徴であり、今後も、継承・発展に努めていきます。

チェリークア・パークについては、豊富な湯量と民間活力による温泉場の開発、また、最上川寒河江緑地と一体となった最上川沿岸スポーツ・レクリエーション基地の構築とハーブ公園の整備など、新たな観光資源の創出を図っていきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・「紅秀峰の里 さがえ」の構築
- ・「温泉のまち 寒河江」の機能充実とイメージアップ推進
- ・温泉の活用による地域ブランド化の形成
- ・温泉宿泊施設の整備・充実の推進
- ・香りの丘（ハーブ公園）の創出
- ・鯉ロードや蛍の里などの観光資源の利活用
- ・「慈恩寺・出羽三山路」の開発
- ・世界遺産育成プロジェクトの推進
- ・葉山や慈恩寺などを結ぶ「歴史の道」の構築
- ・慈恩寺参道や門前の整備
- ・地域伝統食（食の文化財）の指定と推進
- ・祭りやイベントの振興
- ・体験型観光の充実と推進
- ・史跡や寺院等の活用によるまちなか観光の推進
- ・民間活力によるチェリークア・パーク民活エリアの整備促進
- ・最上川沿岸スポーツ・レクリエーション基地の構築
- ・最上川や沼川、二の堰沿いなどのフットパス事業の推進

第3節 活力ある工業の振興と雇用の創出

■現況と課題

工業については、食料、飲料、繊維衣服などの地場産業に加え、寒河江中央工業団地の拡張や優良企業の積極的な誘致を行い、木材、家具、機械、精密・運送機器、金属電子機器、プラスチック製品など、多様な企業の集積を図ってきました。

長引く景気の低迷やグローバル化など、厳しい経済環境のなか、製造業は本市産業の基軸として地域経済を牽引しています。

少子高齢化による生産年齢層の減少や消費者ニーズの多様化、技術革新や国際競争の激化など、引き続き、厳しい経済環境が予想されますが、地域に根ざした多様な企業活動を推進するための基盤整備や人材の育成を図る必要があります。

また、新卒者など若者の定住促進、子どもを安心して生み育てることができる職場環境づくり、熟練技能の伝承を含めた高齢者の就業の場確保、あるいは、フリーターやニート対策等が、重要な課題となっています。

さらにダイナミックな企業活動を推進するためには、そこに働く人たち自らが働く喜びを実感できることが大切であり、より良い労働環境づくりを進める必要があります。

■基本目標

魅力ある多様な企業の集積と雇用の場を創出するため、積極的に優良企業の誘致を行い、定住の促進と活力ある地域社会を構築していきます。また、消費者ニーズの多様化、技術革新や国際競争など、これらに対応する経営基盤の確立や販路拡大のため、引き続き、支援策を行っていきます。

さらに、企業活動を支える人材の育成や技能向上のための研修事業など、さらなる充実に努めていきます。

フリーターやニート対策、女性の就業環境や高齢者の雇用対策など、国や県と連携しながら就業環境の整備を図っていきます。

■施策の体系

活力ある工業の振興
と雇用の創出

工業の振興を支える人材の育成と雇用の創出
活力ある企業活動の推進
働く喜びを実感できる環境づくり

■主な施策

- ・技術交流プラザの活用による各種研修、技能講座等の充実
- ・高度な技術・技能者や創造性に富んだ人材の育成
- ・寒河江中央工業団地の拡張整備
- ・優良企業の誘致による雇用の創出
- ・国際化における寒河江ブランドの発信支援
- ・グラウンドワークなど、企業による地域参加の推進
- ・広域的なイベント参加による情報発信
- ・女性や高齢者等の就業拡大
- ・ニートやフリーターの就業促進

第4節 人行き交い、賑わいある商業の振興

■現況と課題

魅力ある中心市街地を形成するため、駅前中心市街地整備事業による都市機能の再整備や中心市街地活性化センターを整備し、商業機能の再構築を進めるとともに、中心市街地での各種イベントや祭りの開催など、賑わいづくりを行ってきました。

商業は地域の消費者の利便性を高め、就業の場の創出など、地域の活性化に大きな役割を担っており、商店自らの積極的な姿勢による一層の振興を図る必要があります。

また、農業、観光などの他産業との幅広い連携を図り、本市の特性や消費者の多様化、高度化したニーズに対応した個店、新商品、新サービスづくりなどを図るとともに、祭りやイベント等によるさらなる賑わいづくりに努める必要があります。

中心市街地活性化センターや寒河江駅前地区、街路事業で進められている上町・六供町などの回遊性を図り、それぞれの商業機能や個性を生かしながら、中心商業地の活性化を図る必要があります。

■基本目標

商業の振興については、消費者の多様化・高度化しているニーズへの対応を推進するため、個店の魅力向上と情報発信の強化に努めるとともに、店舗等の集積を図ります。さらに、中心商店街と郊外的大型店等と機能分担を図り、市民のライフスタイルや訪れる人々のニーズに対応していきます。

また、賑わいとうるおいのある楽しく・安全・快適な環境の整備を図っていくとともに、中心市街地活性化センターを核に、街中観光の回遊性とアミューズメント性を高める施設の集積を進め、人・物・情報の交流あるまちづくりに努め、商業・サービス業の振興を図っていきます。

■施策の体系

人行き交い、賑わい
ある商業の振興

魅力ある商業地の形成
中心市街地活性化センターの利活用促進
賑わいのあるまちづくりの推進

■主な施策

- ・郊外店舗と中心商業地との機能分担
- ・一店一品運動の支援

- ・ 個店の情報発信の強化
- ・ 各地域の個店の魅力向上
- ・ 商店街の活性化と後継者の育成
- ・ 中心市街地活性化センターの機能充実と利活用促進
- ・ 回遊性とアミューズメント性を高める施設整備
- ・ 上町・六供町沿線の街並み整備の推進
- ・ 中心市街地への地域色ある店舗の誘導
- ・ 地場産品を活用した新商品・新サービスの開発の促進
- ・ 祭りやイベントの開催による賑わいの創出

第5節 地域経済の活性化と新たな産業の創出

■ 現況と課題

少子高齢化、環境問題、高度情報化及び規制緩和等により、社会経済の枠組みが大きく変容するなかで、シニア市場の拡大、優れた環境技術の需要、ITの利活用の拡大など、新たな市場ニーズも発生しており、これらに対応した産業の創出が期待されています。

本市には、先端的な産業であるロボット、有機EL及びそれらを支える超精密加工技術に係わる企業があり、超精密加工技術については、県の超精密技術集積特区に本市も区域指定されており、これらを含めた先端的な新産業の振興を図るためには、異業種間・産学官で取り組む必要があります。さらに、高齢社会の進展に伴い、健康・福祉サービスに係わる産業の振興も重要になっています。

また、酒造米として栽培されている「豊国」の稲わらが、草履表の原料として活用されており、また、本市特産である里芋「つるり」の親芋を利用した新商品開発の企画などがあり、このような、伝統的な地場産業と農産物による新しい事業や新分野の創出にかかわる起業を、積極的に支援する必要があります。

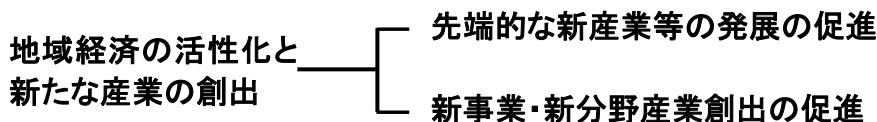
■ 基本目標

少子高齢化、環境問題、高度情報化など新たな社会変化に対応した新事業の創出や新分野の創出及び新たな起業を促進し、本市産業の振興を図っていきます。

先端的な新産業の創出を支える技術開発を推進し、関係する産業を含めた本市産業の技術力向上と関連企業の集積化を推進していきます。

本市の伝統的な地場産業やすぐれた農産物を活かし、技術や商品、サービスの創出を促進し、地域経済の振興を図っていきます。

■ 施策の体系



■ 主な施策

- ・ 国際化、IT化へ対応する事業の展開
- ・ 異業種・産学官交流の促進
- ・ クラスター化の推進
- ・ 開発計画作成支援
- ・ コミュニティビジネスの創出支援
- ・ 新たな産業の創出と人材の育成

第4章 いきいきと健康で安心できる地域社会の創造

第1節 すこやかな成長と生きがいある地域社会の形成

■現況と課題

少子化の進行は、労働力人口の減少や社会保障分野における次世代の負担増をはじめ、子どもの健全な成長や社会経済の様々な面において影響が及ぶものと予想されます。また、一世帯の家族人数は減少傾向にあり、核家族世帯の増加とともに、女性の社会進出が顕著となり、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、児童福祉施策へのニーズも複雑・多様化しています。

このように、子どもと家庭を取り巻く環境が変化しているなかで、仕事をしながら子育てできる、仕事と子育て両立支援のサービスや土曜日の延長保育など、柔軟で多様な保育サービスが求められています。また、子育て仲間との交流と情報交換の機会提供など、地域全体で子育て家庭を支援することが必要となっています。

人生80年時代という長寿社会の到来に伴い、いつまでも健やかに暮らすため、これまでの知識や経験を生かし、働くことやボランティア活動などにより、社会参加による喜びや生きがいの充実など、自立と生きがいづくりを推進する必要があります。

また、家族や地域との円滑なつながりのなかで、身近な住み慣れた地域において、個々の状況に対応した介護サービス等が受けられる体制づくりが必要となります。

さらに、障害のあるなしに関わらず、すべての人がともにいきいきと生活できる、豊かな地域社会の創造がより一層求められます。

■基本目標

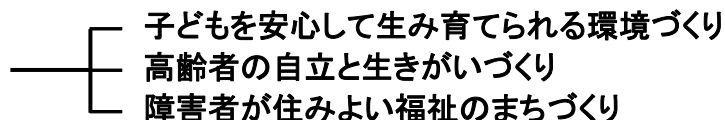
寒河江市次世代育成支援行動計画「子どもすこやかプラン」を基本に、次世代を担う子どもたちのすこやかな成長と子育てに取り組む家庭のさまざまな支援を充実していくため、『子どもを安心して生み育てられる地域社会の創造』を基本理念に、子どもたちと子育て家庭の幸せを願い、少子化対策を一層推進していきます。

高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画に基づき、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを推進し、必要な時に必要なサービスが受けられる保健福祉サービスを充実していきます。また、高齢者が健康で生きがいを持って社会活動に参加できるような環境づくりに努めます。

障害者福祉についても、住みなれた家庭や地域での自立を促進し、周囲の理解や見守り、必要な支援を受けながら、『福祉のまちづくり』を推進していきます。さらに、福祉ボランティアの養成と活動を推進していきます。

■施策の体系

すこやかな成長と生きがいある地域社会の形成



■主な施策

- ・母子保健事業の充実
- ・子育て支援機能の強化
- ・保育サービスの充実
- ・放課後児童対策の充実
- ・子育てを見守る社会環境づくり

- ・高齢者見守り支援ネットワークの構築と充実
- ・地域包括支援センターの設置と支援事業の充実
- ・地域密着型サービスの充実
- ・高齢者ふれあいサロンの開催
- ・高齢者の社会参加の促進
- ・障害者福祉サービスの充実
- ・手話通訳や点字翻訳、要約筆記等、福祉ボランティアの養成

第2節 生涯を通して健康で明るい生活の実現

■現況と課題

急速な少子高齢化が進むなかで、生涯にわたって健康で安心な明るい生活を送ることは、すべての市民の願いです。しかし、高齢化に伴う障害も増加していくことから、健康でいきいきと生活するには、健康寿命の延伸が大切になってきています。

健康寿命の延伸を図るうえで、今後は、生活習慣の改善を図りながら病気の予防や要介護状態の予防など、青年期・壮年期の若い世代からの健康づくりを推進することが重要な課題となってきています。

現代社会においては、体を動かす機会の減少が予想されます。市民が生涯にわたり、健康で明るく、活力ある生活を送ることが、個々の市民の幸福にとどまらず、社会全体の活力維持のためにも強く求められています。体を動かすという人間の欲求に応えるとともに、爽快感、達成感、連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすスポーツは、体力の向上や精神的ストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身両面にわたって健康増進に資するものです。

こうした課題の解決や本市スポーツの振興を図るため、これまでの仕組みを抜本的に見直すことが必要であり、新しい方向として、総合型地域スポーツクラブの整備に代表されるように、スポーツ振興の基盤を地域社会に求め、市民が主体的にスポーツ環境づくりに関わっていく必要があります。

■基本目標

健やかでいきいきとした社会の実現を図るため、疾病予防・健康づくり・健康増進が不可欠であり、市民自らが健康づくりへ参加、協力する主体的な健康づくりの支援と環境整備に努め、生活全般にわたる健康な生活を推進していきます。また、高齢者の健康づくりや健康保持のため、転倒予防、筋力アップなど介護予防に重点をおいた高齢者対象の健康教室を積極的に開催し、介護予防や医療費の削減に努めていきます。

さらに、市民一人一人が体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、いつまでもスポーツに親しむことができるように、地域住民が主体的に取り組む「総合型地域スポーツクラブ」を育成していきます。また、子どもたちが生涯を通じ運動やスポーツに親しめるよう、学校における体育・スポーツの充実を図っていきます。

また、最上川沿岸スポーツ・レクリエーション基地の構築に取り組み、水上スポーツとしてのカヌーやボート等の普及に努めていきます。

■施策の体系

生涯を通して健康で
明るい生活の実現

健康づくりのための環境整備
誰もが親しめる生涯スポーツの推進
感動と活力を生み出すスポーツの推進

■主な施策

- ・生活習慣病の予防に関する指導
- ・生活習慣に関する自発的な健康づくり支援
- ・健康教育や健康相談等、保健事業の実施
- ・地域社会や体育施設等との連携推進
- ・介護予防に重点をおいた高齢者教室の開催
- ・総合型地域スポーツクラブの育成
- ・各種スポーツ団体の育成と指導者の養成
- ・学校、その他体育施設の開放推進
- ・ジュニア期のスポーツ育成支援
- ・学校と地域社会・スポーツ団体との連携

第3節 充実した医療体制による安心な暮らしの提供

■現況と課題

高齢社会の到来などを背景に、医療ニーズは多様化、高度化しているなかで、地域医療の充実と適切かつ効率的な医療サービスの提供が強く求められています。

また、高齢化による疾病構造の変化や医療技術の急速な進歩と診療内容の高度専門化、加えて、医療安全や医療情報の開示と保護への社会的関心の高まり等、医療状況は大きく変化しています。年々増加する医療費の適正化に向け、医療保険制度においても新たな枠組みが模索されるなど、医療を取り巻く社会環境も大きく変わろうとしています。

このようななかであって、市民がいつでも安心して暮らすことのできる充実した医療供給体制が求められるとともに、健康推進や介護ケアなど関連分野と一体となった包括的地域医療の確立が必要となっています。また、地域の限られた資源を効率的に活用するため、寒河江西村山地域内における医療機関や関連団体等との機能分担と連携を図りながら、医療水準の向上をめざすことが一層重要になっています。

これらの背景のなかで、地域医療の充実を図るため、地域の中核医療機関である市立病院の整備を進め、高度化、多様化する市民の医療ニーズに的確に応える体制を整える必要があります。

■基本目標

疾病構造の変化や医療技術の高度化、専門化が進むなか、地域医療ニーズを的確に捉え、市民が安心できる医療供給体制を確立していくため、広域的視点にたち一次、二次、三次の医療機関の機能分担と連携を図り、地域の医療資源を効果的に活用する医療体制を構築していきます。また、救急医療や休日・夜間医療の拡充を図り、いつでも安心して暮らせる医療体制を整備していきます。

地域の中核医療機関である寒河江市立病院は、西村山地域内の公立病院や近接の高次医療機関を含めた広域的な機能分担の見地から必要な機能の充実を図るとともに、変化する医療環境に適応した公立病院のあり方を検討していきます。

■施策の体系

充実した医療体制による安心な暮らしの提供

地域医療の充実と適切かつ効率的な医療サービスの提供

広域的視点にたった自治体病院の連携と機能分担

■主な施策

- ・救急医療、休日・夜間診療体制の充実
- ・医療機関相互の機能分担と連携の強化
- ・高齢社会に適応した診療体制の整備
- ・公立病院の広域的な連携と分担の検討
- ・寒河江市立病院の施設整備
- ・乳幼児予防接種広域化の推進

第5章 市民自らの手による地域社会の創造

第1節 市民参加による協働のまちづくり

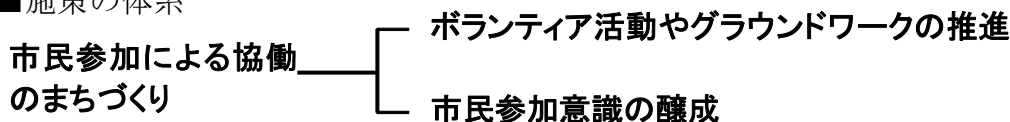
■現況と課題

市民参加によるフラワーロードや花いっぱいまちづくりの植栽などによるうるおいあるまちづくり、グラウンドワークによる公園づくり、道路緑地帯を活用した花壇整備、維持管理など、グラウンドワーク活動の積極的活用と取り組みにより多種多様な事業を展開してきました。これからのまちづくりは、自主性、独自性が求められており、ボランティア活動やグラウンドワークを推進し、「市民」「企業」「行政」がそれぞれの役割を果たしながら、市民参加による協働のまちづくりを進める必要があります。

■基本目標

市民・企業・行政がパートナーシップを組み、協働のまちづくりを進めるため、互いに連携、協力し合いながら、環境美化や自然の保全、イベントや祭りの開催など、元気なまちづくりを形成していきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・ボランティアやグラウンドワーク活動のネットワーク化
- ・各種イベントへの市民参画支援
- ・住民が主体となった地域づくりの推進

第2節 市民による地域社会の形成

■現況と課題

地域特性を生かした魅力ある地域づくりを推進するためには、住民自らが構想を立て、企画し実践するなど、自主性、独自性が求められています。そのため、地域のリーダー育成とともに市民参加による地域力を醸成し、自分たちの手による地域社会をめざす必要があります。

■基本目標

地域特性を生かした魅力ある豊かな地域づくりをめざします。

■施策の体系



■主な施策

- ・協働による地域づくり活動の支援
- ・住民一人ひとりの社会参加活動の促進
- ・地域の社会活動拠点の整備
- ・住民の主体的・自主的な地域活動の推進
- ・市民との協働による清掃活動や環境改善

第3節 安全安心な地域づくり

■現況と課題

交通事故や複雑で多様化する犯罪が多発し、また、大規模な自然災害の発生が懸念される現状のなかで、市民一人ひとりが安全安心な地域づくりをめざすことが重要であり、地域における防災力や防犯力の強化が求められています。

防犯については、被害防止のための情報提供及び警察との連携のもと、地域の自主的防犯活動の強化を図る必要があります。消防防災については、火災や自然災害に備え、消防力の充実のほか、地域連携による地域防災体制の強化を図る必要があります。交通安全については、幼児期からの交通マナーの教育及び高齢者への意識啓発を推進するとともに、安全施設の整備を図る必要があります。

また、清潔な居住環境の維持保全に努め、資源循環型社会の構築をめざし、廃棄物の適正処理を推進する必要があります。

■基本目標

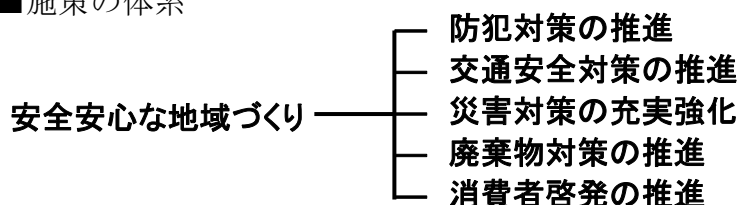
暮らしの安全安心のため、寒河江市防犯協会を中心に地域の自主的防犯活動を強化するとともに、警察等関係機関及び各学校と連携し、青少年の非行防止及び児童生徒や高齢者の安全確保に努めていきます。

交通安全については、計画的に施設整備を図るとともに、子どもと高齢者の交通安全教育を積極的に推進していきます。

消防防災については、消防団員の確保及び消防技術の向上を図るとともに、自主防災組織について市内全域の組織化をめざします。また、消防防災施設の適切な維持管理と計画的な整備充実に努めるとともに、火災や自然災害に備え、地域防災体制の強化を図っていきます。

また、環境への負荷を低減し快適な生活環境を保全するため、ごみの減量化と再資源化を促進するとともに、不法投棄防止の啓発強化や消費者の保護に努めていきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・地域の自主的な防犯啓発活動
- ・交通安全施設の整備
- ・積極的な安全教育の推進
- ・消防団員の確保対策
- ・計画的な消防施設の整備
- ・自主防災組織の立ち上げと地域防災力の強化
- ・ハザードマップと避難マニュアルの作成
- ・ごみの減量化と再資源化の推進
- ・不法投棄防止と環境美化の推進
- ・消費知識の普及と悪質商法への対応方法啓発

第6章 21世紀を担う人材の育成

第1節 美しく豊かで元気な心を育む人づくり

■現況と課題

高度情報化社会の進展により社会構造がめまぐるしく変化しています。こうした変化のなかで普遍的価値を大切にしながら、大きな視野にたち人づくりに努めていく必要があります。また、少年期、青年期、壮年期、老年期など、生涯を通して、常に学び、探求する心を養い、社会の形成者としての認識を持ち、新時代を切り拓いていく人づくりが必要となります。

■基本目標

新時代を切り拓いていく人づくりをめざし、美しい心、豊かな心、元気な心の育成に取り組み気品ある社会をつくっていきます。

■施策の体系

美しく豊かで元気な心 —— 生涯を通じた学習機会の場の提供を育む人づくり

■主な施策

- ・常に学ぶ環境づくりの支援
- ・感性豊かな心の教育の推進
- ・教育振興計画の策定

第2節 郷土を愛し、次代を担う子どもたちの育成

■現況と課題

めまぐるしく変化する社会環境のなかで、明日の寒河江市の発展を担う人材を育成するためには、郷土を愛する心、そして、社会の変化に主体的に対応できる資質を子どもたちに育むことが肝要です。

このため、地域の歴史や伝統・文化、そこに暮す人々とのつながりのなかで、学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長をめざしていく必要があります。

また、地域住民とともに学校運営を推し進め、地域に開かれた学校づくりをより一層推進する必要があります。

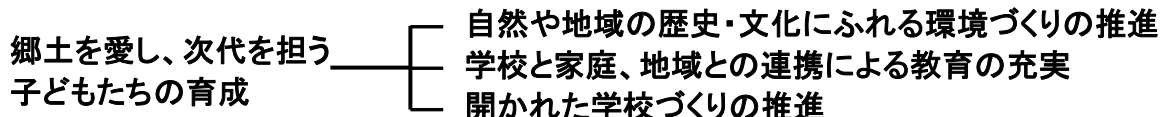
■基本目標

子どもたちが、多くの人に見守られ、健やかに成長し、学ぶことへの意欲・習慣を身につけ、安心して学ぶことができる教育環境づくりに努めていきます。

さらに、学校と家庭・地域の連携を図り、子どもたちが地域のなかで様々な体験活動や人との関わりを通して、郷土を愛し、次代を担う、感性豊かで創造力のある人材の育成をめざします。

また、家庭教育は教育の原点とされています。家庭での基本的な倫理観、健康的な生活習慣、社会的なマナーなどを養う、家庭教育環境の充実に努めます。

■施策の体系



■主な施策

- ・地域の歴史文化を学ぶ活動の推進
- ・地域の自然を活用した環境教育の推進
- ・いのちの教育の推進
- ・幼小中連携の推進
- ・食育の推進
- ・自立を育てる基本的生活習慣の育成
- ・安心して学べる教育施設の整備
- ・学校開放講座の奨励

第3節 地域主体の活動による心豊かな人づくり

■現況と課題

地域には、お互いに助け合ってともに生きていく暮らしと生活文化があり、豊かな歴史やふるさとを愛する想いが積み重なって地域社会をつくってきました。このような地域の関わりや家庭を取り巻く環境の変化により、地域社会の連帯感の薄れなどが懸念されており、地域社会の活性化や地域力の再生を、より一層推進していく必要があります。

また、社会教育団体等においては、設立趣旨や目的に沿った自立活動の展開を推進していく必要があります。

生涯学習活動の進展に伴い、その成果を地域に生かしたいと考える人が出てきており、ボランティア活動が盛んになってきています。こうした地域の人材が、地域のなかで実践できる環境を整えていく必要があります。

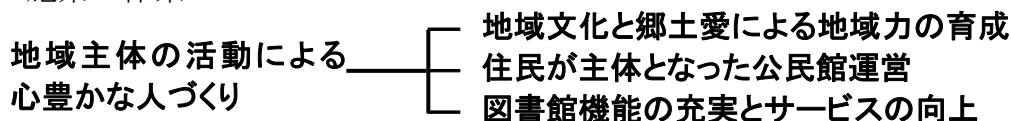
■基本目標

地域課題に対応した学習機会の提供を行うとともに、地域活動団体の育成やボランティア活動を含め、豊かな社会体験や実務経験を有する高齢者や学習活動に参加、実践してきた地域の人材活用を支援していきます。

さらに、人づくりやまちづくりの拠点施設である公民館については、地区公民館長を地域に精通した人を選任するなど、住民自らが主体的に運営し、活動を推進していくとともに、地域文化を育む民俗芸能や伝統行事、祭りなどの継承についても支援していきます。

図書館については、市民の高度化・多様化する学習欲求に対応するため、資料や情報の収集、提供の充実を図るとともに、図書館業務の一部を民間委託し、より一層のサービス向上に努め、利用団体を支援し図書館の機能充実を図っていきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・地域の伝統行事、祭りや民俗芸能の継承支援
- ・地域づくりに対する意識の高揚
- ・知識や経験を生かしたボランティア活動の推進
- ・地域活動のネットワーク化と情報提供
- ・お話、読み聞かせ等の図書館ボランティア活動の支援

第4節 国際社会に対応した地域と人づくり

■現状と課題

国際化の進展は、産業や文化の振興に大きく寄与し、本市においても、数多くの外国からの訪問客が訪れるようになりました。特に、企業のグローバル化に伴う視察研修の拡充による滞在者や国際結婚等によって定住している人たちなど、外国人数は年々増加する傾向にあります。

また、姉妹都市の大韓民国安東市やトルコ共和国ギレスン市との友好交流を図り、行政をはじめ、各種団体においても国際交流の輪を広げています。このため、日本文化を学ぶとともに異文化への理解を深め、外国語や外国の文化に触れる機会をより多く提供していく必要があります。

さらに、本市で暮らす外国人や海外から訪れる人々にやさしい、国際社会へ対応したまちづくりを進める必要があります。

■基本目標

市民レベルでの国際交流を推進し、市民自らが国際的な視野にたち、国際社会で活躍できる人材を育成します。

また、子どもたちへの外国語、特に国際語といえる英語教育の促進や外国人と触れ合う機会を提供し、外国の人々や文化を理解できる国際感覚を持つ人づくりをめざしていきます。

さらに、本市で暮らす外国人が、より快適に安心して過ごせるように、日常生活の情報提供や通訳者などのボランティアを育成していきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・国際交流推進活動の拠点整備
- ・国際交流ボランティア活動の支援
- ・外国語会話の学習機会の提供
- ・外国語指導助手（ALT）の拡充
- ・日本語教室の拡充
- ・外国人と相互理解する機会の提供
- ・施設やガイドブック等の外国語表記

第7章 自らの責任で自立した市政をめざす

第1節 行財政改革と市政運営

■現況と課題

住民の行政に対するニーズは、生活レベルの向上とともに質的に高度化してきました。また、国際化や情報化の進展、少子高齢社会の到来など、社会情勢の変化に伴い新たなニーズが生じています。

地方自治体は、これらの住民ニーズに的確に対応していくため、常に、行財政改革を推進し、事務事業の見直しと効率化を図り、財源や人などの行政資源を有効に活用し、より良いサービスを提供していく必要があります。

地方公共団体においては、少子化の進行と人口減少社会を迎え、今後、税収の大幅な伸びが期待できなくなっており、さらに、地方分権の時代において、財政的にも制度的にも国や県に依存する体制から脱却し、限られた財源と自らの判断による行財政運営を行っていく必要があります。

本市においては、地方分権に伴う国からの財源の縮小が予想され、今後も、厳しい財政運営が進むものと予想されます。

そこで、新たな行財政改革を精力的に推進し、自立した寒河江市の行財政基盤の確立を図り、そして、豊かな未来の創造をめざした投資を行っていく必要があります。

■基本目標

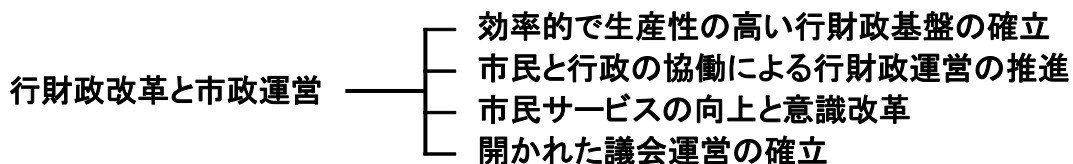
これまで以上にコスト意識を念頭においた行政資源の有効活用が求められ、常に事務事業の見直しを行うなかで、単に削減するだけでなく、知恵を出し、より質の高いサービスの提供に努めていきます。

また、まちづくりの目標を市民と共有し、市民と行政の協働により行財政改革を推進するとともに、市民と行政が責任と役割を分担し、相互に協力し合い、豊かな未来を築いていきます。

地方自治体における制度の策定及び施策の実施にあたっては、自主性・自立性が十分発揮されるよう行政と議会の役割を明確にし、ともに行財政基盤の確立に向け努めていきます。

さらに、厳しい財政状況のなかで、市民の要望や時代の要請に的確に応え、市民サービスの向上を図るとともに、業務に携わる職員の意識改革を進めていきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・歳入の確保
- ・定員・給与の適正化
- ・経常的経費の削減と事務事業の見直し
- ・民間委託の推進
- ・市民が主体となる事業展開
- ・市政に関する情報の共有
- ・行政の電子化の推進

- ・職員の意識改革と能力向上
- ・議会活性化策の推進

第2節 広域的視点にたった市政の展開

■現況と課題

道路交通網の充実や情報通信手段の発達に伴い、市民の日常生活における通勤や通学、買い物、医療機関への受診など、市民の行動範囲は従来の区域を越え、さらに広がりを見せています。これに伴い、市民の行政に対するニーズも、広域化、多様化、高度化しており、効率的な行財政運営の構築と確かな財政基盤の確立を図る必要があります。

このため、既存の行政圏に留まらず、新たな枠組みも考慮し、広域的な行政サービスの提供と本市の将来を考えたまちづくりを推進する必要があります。

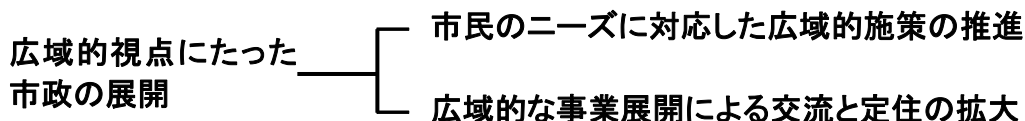
また、南東北や関東圏を視野に入れ、産業の発展や振興、観光資源の有効活用など、新たな広域的施策を展開し、交流の拡大を誘導し定住を促進する必要があります。

■基本目標

広域化、多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、新たな行政課題として広域的視点にたち、市政の将来を見据えた施策を推進していきます。

さらに、産業の振興を図るため、広域的な事業展開を促進し、交流拡大と定住促進を図っていきます。

■施策の体系



■主な施策

- ・新たな市町村合併の検討
- ・庁舎施設のあり方の検討
- ・広域的な観光資源の活用と連携の強化
- ・広域的施策の展開による産業の振興